

外国語科目群

初修外国語

卒業に必要な初修外国語の単位規定や予備登録規定などについては、「全学共通科目履修の手引き」を参照して下さい。また成績評価の詳しい基準は各科目ごとに授業中に指示します。

中国語 –Chinese–

我々が学ぶ「中国語」は、多民族国家である中国において圧倒的多数を占める漢民族の言語、すなわち「漢語」をさします。漢語は、文字記録によって確認されるだけでも三千三百年もの歴史を持ち、現在は十億人以上の人々に使用されている大言語です。漢語には多様で豊富な方言が存在するのですが、我々が大学で学ぶ「中国語」は、特定の地域の漢語方言ではなく、「普通話」と呼ばれる、北京方言を基礎として規範化された共通語です。これは、近代以降に、方言差異に起因する教育の困難さを克服することを目的の一つとして制定されたものであり、現在では多くの中国人が、自身の方言あるいは民族語と、「普通話」とを併用しています。皆さんが、大学で「普通話」を習得すれば、何億もの人々と直接的にコミュニケーションし得る道具を手に入れることになるのです。

漢字を使い、多くの「音読み」の漢字語を持つ日本人にとって、中国語は入門しやすい外国語の一つです。これは奈良時代以前から、日本人が漢籍を通じて中国語を受容し、日本語の中に「音読み」という中国語からの借用語を不断に取り入れてきた結果に他なりません。その一方、「政府」「経済」「革命」「文化」「理論」「分析」といった現代日本語で近代的概念を表す「音読み」の漢字語は、その少なからぬものが、明治維新期前後の日本において、伝統的な「音読み」の漢字語に近代的な意味が付与されて創られたものであり、上述の単語のようにしばしば現代中国語に「逆輸入」されています。大学で「中国語」を学ぶことは、以上のような複雑で重層的な日本語と中国語との歴史的な関係を窺い知ることにも繋がります。

本学においては、発音と基本的表現の習得を目的とする初級として、「中国語ⅠA・B（文法）、ⅠA・B（演習）」が、また読解力、表現力などさまざまな面からのより進んだ学習を目的とする中級として、「中国語ⅡA・B」が開講されています。

◆全回生対象（初級） ※再履修者クラスを含みます

中国語ⅠA・B（文法）

中国語ⅠA・B（演習）

◆学部2回生以上対象（中級）

中国語ⅡA・B